

神戸市感染症発生動向調査週報

平成30年10月11日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所 (内訳) 東灘6, 灘3, 中央3, 兵庫3,
設置定点数 48 ケ所 北8, 長田3, 須磨6, 垂水8, 西8

第 40週

平成30年10月1日 ~

平成30年10月7日

インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	80歳~
インフルエンザ								2		2		1								1										

小児科

報告定点数 31 ケ所 (内訳) 東灘4, 灘2, 中央2, 兵庫2,
設置定点数 31 ケ所 北5, 長田2, 須磨4, 垂水5, 西5

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	20歳~						
RSウイルス感染症	3	4	2	3	4		1	5	16	38	4	10	14	9		1														
咽頭結膜熱			1				1			2				1					1											
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	4			2		2	9	6	27				1	2	5	4	4	6	1	1	3								
感染性胃腸炎	9	4	5	8	15	4	17	20	6	88	2	4	7	7	2	12	7	5	6	6	9	12	1	8						
水痘	1		1		2			3	2	9		1		2		1		1	2	1	1									
手足口病	9	1	6			4	6	6	6	38	1	2	9	5	5	7	4	1	2	1		1								
伝染性紅斑						1				1											1									
突発性発疹	2	1	1			1		3	2	10		2	8																	
ヘルパンギーナ	3		1		1	3	8	5		21		2	6	3	3	2	2	2		1										
流行性耳下腺炎					1	1			2	4				1			1					2								

百日咳は、平成30年1月1日から全数報告となりました。医療機関で患者を診断した際には、届出基準に基づき、届出の提出をお願いいたします。

全国で風しんの届出数が7月下旬から大幅に増加しています。今年の1月1日~9月30日までの風しん患者数は、952例で、東京都や千葉県など関東圏での発生が多いですが、愛知県など各地に患者が増えてきています。本市では、検査確定例での届出が1例ありました。また、医療機関からの風しん疑い患者に関する相談が増えていきます。国の報告では、患者の96%が成人で、特に30代から40代の男性の割合が多いです。30~50代の男性においては2割程度、風しんの抗体価(免疫)が低い人が存在すると報告されています。そのため、抗体価のほか、過去に風しんにかかったことがあるかや予防接種を受けたかなどを確認し、風しんにかかるおそれのある場合は、予防接種を検討しましょう。

[風しんに注意しましょう 神戸市HP](#)

報告定点数 10 ケ所 (内訳) 東灘1, 灘1, 中央1, 兵庫1,
設置定点数 10 ケ所 北1, 長田1, 須磨1, 垂水1, 西2

眼科

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	70歳~	
急性出血性結膜炎										0																				
流行性角結膜炎	2		2	2	1				3	10				1	1					2				1	1	1	1	1	1	1

【定点機関から報告されたその他の感染症情報】

中央区○アデノウイルス感染症4例:2歳 男、3歳 女、4歳 女、7歳 男
北 区○マイコプラズマ感染症1例 2歳 男

【基幹定点(市内3ヶ所)からの報告】

細菌性髄膜炎2例:24歳 男、68歳 男

【市内の感染症の状況】

○ヘルパンギーナ

今年のヘルパンギーナの患者数が8月下旬から横ばいのまま推移しており、過去5年の同時期と比較して多いです。ヘルパンギーナは主にコクサッキーA型ウイルスによる感染症であり、高熱と口腔粘膜に水疱性の発疹がみられる急性のウイルス性咽頭炎でほとんどは、自然軽快しますが、まれに髄膜炎や心筋炎などの合併症を引き起こすこともあります。また、乳幼児では、高熱と口腔内の痛みのために水分摂取ができなくなり、入院が必要になることもあります。予防策として手洗いを励行しましょう。また、アルコールが効きにくいウイルスのため、施設等で患者が発生した際には、次亜塩素酸ナトリウムを用いて消毒を行い、感染拡大を防止しましょう。

○インフルエンザ

先週よりも患者数が減少していますが、神戸モデル連絡票では施設でのインフルエンザ患者の報告があります。流行する前にワクチン接種などの予防対策を検討しましょう。

[神戸モデルとは 神戸市HP](#)

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向](#) [\[検索\]](#)

[「IL」情報センター](#) ホームページを開設しています。詳細は[こちらをクリック](#)

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2018年10月10日作成

全数把握対象感染症発生状況

(二類感染症 結核)

結核届出患者数は10人(うち潜在性結核感染症5人)です。

全数把握対象感染症発生状況

(三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	菌種	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	0~4歳	2018年9月30日	2018年10月1日	2018年10月1日	O157(VT2)	分離・同定による病原体の検出(便)	腹痛、血便 水様性下痢 嘔吐、発熱 溶血性貧血 急性腎不全 痙攣、昏睡 脳症、HUS	不明	-

全数把握対象感染症発生状況

(三類感染症 パラチフス)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	菌種	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	50代	2018年9月30日	2018年10月4日	2018年10月9日	-	分離・同定による病原体の検出(血液)	高熱 比較的徐脈 便秘	不明	渡航歴あり (バングラデシュ)

全数把握対象感染症発生状況

(四類感染症 E型肝炎)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	70代	2018年8月25日	2018年9月26日	2018年10月3日	-	血清IgA抗体の検出	全身倦怠感 肝機能異常	不明	-

全数把握対象感染症発生状況

(四類感染症 レジオネラ症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	90代	2018年10月4日	2018年10月4日	2018年10月5日	肺炎型	尿中の病原体抗原の検出(イムノクロマト法)	発熱、肺炎 咳嗽 呼吸困難	不明	-
男	50代	2018年10月5日	2018年10月10日	2018年10月10日	肺炎型	尿中の病原体抗原の検出(イムノクロマト法)	発熱、肺炎 下痢 その他(頭痛)	不明	-

全数把握対象感染症発生状況

(五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	60代	2018年10月2日	2018年10月4日	2018年10月5日	-	分離・同定による病原体の検出(血液・喀痰)	発熱、菌血症 全身倦怠感 肺炎	不明	ワクチン接種不明
女	60代	2018年9月28日	2018年10月3日	2018年10月6日	-	分離・同定による病原体の検出(血液)	発熱、咳 肺炎、菌血症	不明	ワクチン接種あり (1回)

全数把握対象感染症発生状況

(五類感染症 急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。))

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	0~4歳	2018年9月30日	2018年9月29日	2018年10月6日	RSウイルス	臨床決定	発熱、痙攣 意識障害	飛沫・飛沫核感染	-

全数把握対象感染症発生状況

(五類感染症 梅毒)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	20代	不明	2018年10月1日	2018年10月2日	早期顕症梅毒I期	RPRカードテスト TPHA法	その他(咽頭痛)	性的接触	-
男	50代	2018年9月22日	2018年9月29日	2018年10月5日	早期顕症梅毒I期	自動化法 TPHA法	硬性下疳 鼠径部リンパ節腫脹 (無痛性)	異性間性的接触	-
男	20代	-	2018年10月5日	2018年10月5日	無症状病原体保有者	RPRカードテスト TPHA法	なし	異性間性的接触	-
男	50代	2018年9月26日	2018年10月3日	2018年10月5日	早期顕症梅毒I期	RPRカードテスト TPHA法	硬性下疳	異性間性的接触	-
女	20代	不明	2018年9月26日	2018年10月6日	早期顕症梅毒II期	凝集法 TPHA法	丘疹性梅毒疹	異性間性的接触	-

全数把握対象感染症発生状況

(五類感染症 百日咳)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	0~4歳	2018年9月16日	2018年9月19日	2018年10月3日	-	検体からの病原体遺伝子の検出(LAMP法)	夜間の咳き込み スタックカート 白血球数増多	不明	ワクチン接種歴なし

全数把握対象感染症発生状況

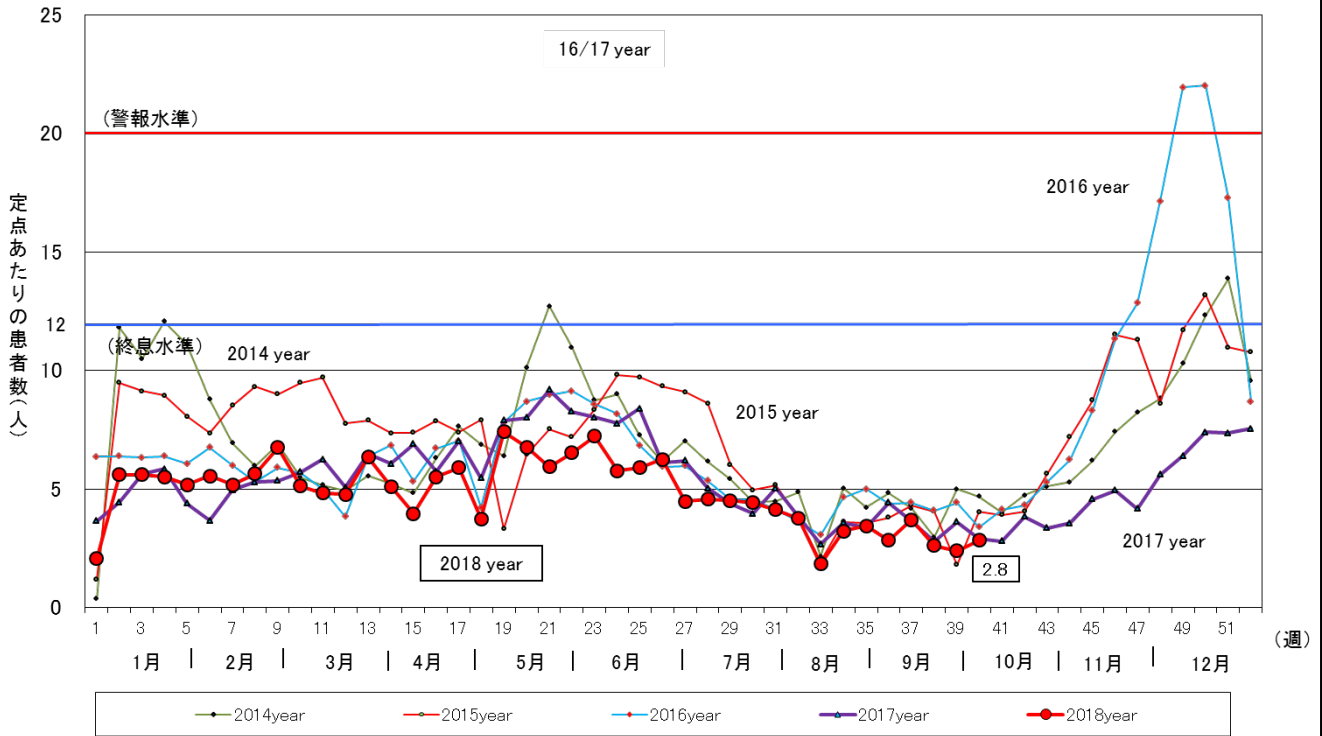
(五類感染症 風しん)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	50代	2018年9月26日	2018年9月28日	2018年10月3日	検査診断例	血清IgM抗体の検出	発熱、発疹 咳、鼻汁 結膜充血	不明	ワクチン接種歴あり (1回)

神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
A型インフルエンザウイルス(H1pdm09亜型)	鼻腔ぬぐい液	須磨	47歳女(9/25採取、38.7℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)
	鼻腔ぬぐい液	垂水	6歳女(9/26採取、40.3℃、インフルエンザ、ワクチン接種歴不明)、通っている幼稚園で複数の患者発生
A型インフルエンザウイルス(H3亜型)	鼻腔ぬぐい液	須磨	2歳2ヶ月女(9/25採取、38.3℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)、家族内発生
RSウイルス	鼻腔ぬぐい液	北	2歳2ヶ月女(9/20採取、40℃、RSウイルス感染症)
	鼻腔ぬぐい液	北	1歳11ヶ月女(9/21採取、38℃、RSウイルス感染症)
	鼻腔ぬぐい液	西	1歳6ヶ月男(9/23採取、38℃、気管支炎、RSウイルス感染症)
	鼻腔ぬぐい液	須磨	0歳2ヶ月男(9/25採取、38.4℃、RSウイルス感染症)、家族内発生
ヒトメタニューモウイルス	鼻腔ぬぐい液	垂水	1歳7ヶ月男(9/22採取、38.3℃、気管支炎、ヒトメタニューモウイルス感染症)
VZV(水痘帯状疱疹ウイルス)	水疱内容物	中央	10歳女(9/18採取、発熱なし、水痘)

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



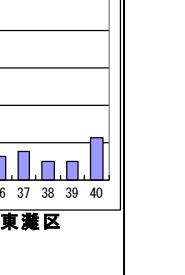
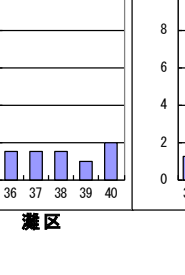
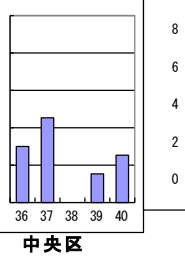
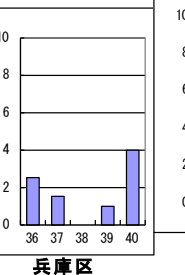
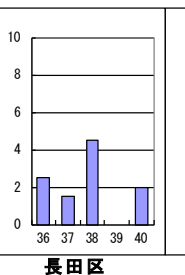
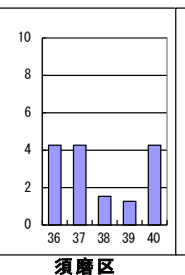
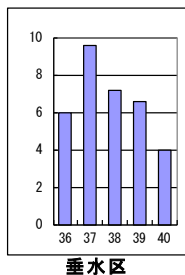
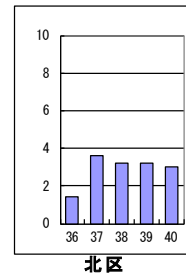
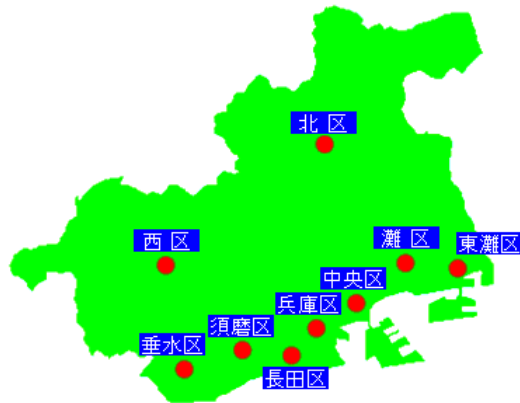
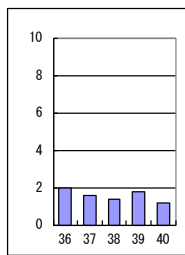
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 36 週 平成30年9月3日

~

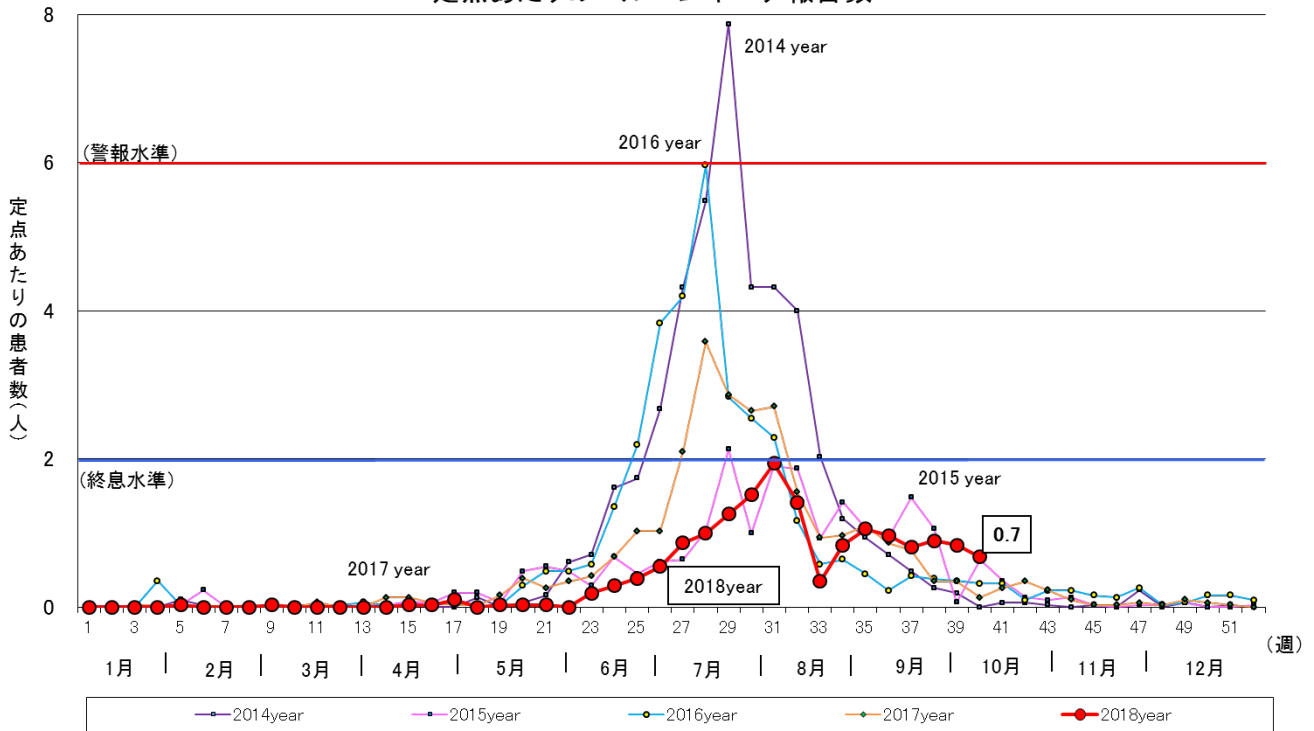
第 40 週 平成30年10月7日

感染性胃腸炎



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりのヘルパンギーナ報告数



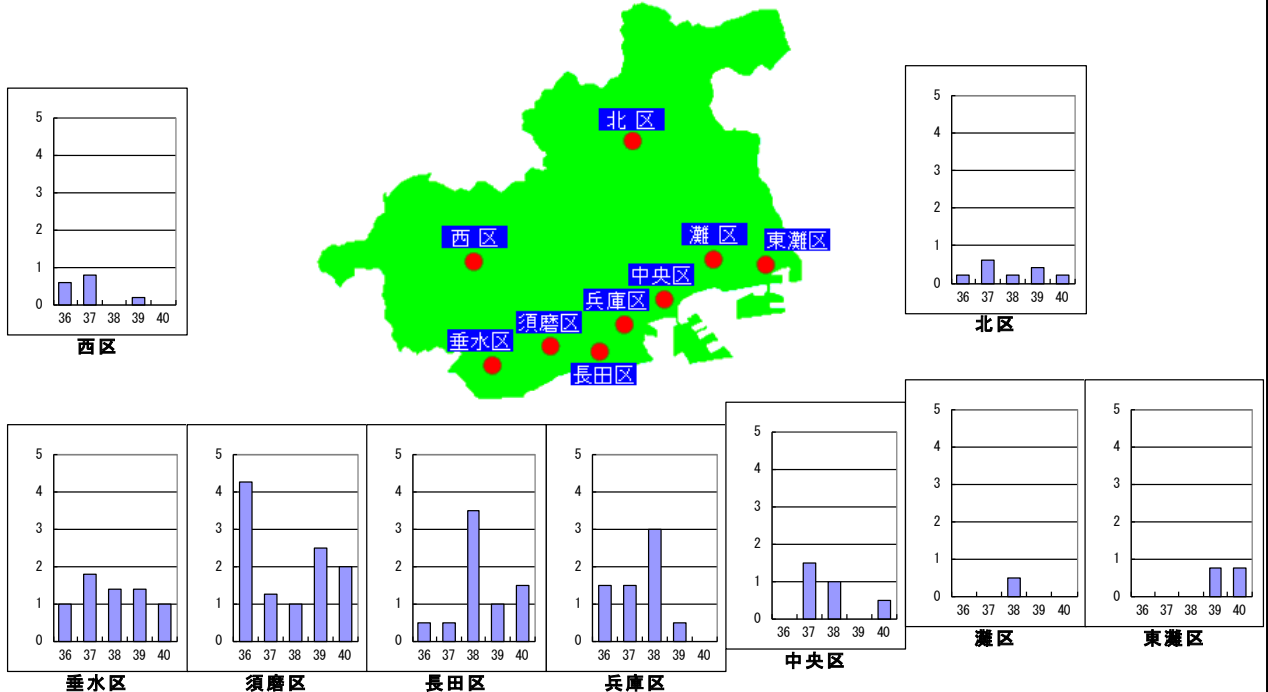
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 36 週 平成30年9月3日

～

第 40 週 平成30年10月7日

ヘルパンギーナ



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。